

第1号議案

令和4年度 アジェンダ21すいた 事業活動報告(案)

1 フラッグシッププロジェクトの推進

(1) 地球温暖化防止プロジェクト

1 事業内容

フラッグシッププロジェクトとして7年目になりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に気を配りながら止まることなく啓発活動を継続しました。コロナ禍にあっても地球温暖化防止、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) に対する認知度をさらに高め、市民・事業者自らがライフスタイルを転換することを目標に活動しました。

1-1 すいたクールアースウィーク

市内公共施設、企業、各種団体の皆様で「地球温暖化防止に向けた取り組みの全市的な促進」を目的に、令和4年9月27日(火)～10月10日(月・祝)の間、省エネ活動、地球温暖化に関する啓発や展示などに取り組みました。具体的な取り組みは以下の通りです。

<取り組み1>すいたムーンライトコンサートオンライン開催

主催：アジェンダ21すいた

ポスター制作協力：大阪アニメーションカレッジ専門学校

令和4年度のすいたムーンライトコンサートは南千里駅前のまるたす広場にて実施予定でしたが、雨天により中止となりました。代替として、令和3年度と同様にアジェンダ21すいたのホームページにて出演者の動画を鑑賞できるように公開しています。

<取り組み2>プラスチックについて考えよう

主催：大阪環境カウンセラー協会

たまねぎ染めのエコバックをつくり、染色している時間にプラスチック問題について考える講座を実施しました。

日時：令和4年10月8日(土) 10:30～12:00

場所：高槻市立総合市民交流センター



＜取り組み 3＞ダウンライトカフェ

主催：健都パークライフ創造パートナーズ

カフェ内の照明を部分的に落として、LED ライトで光の演出を行いました。

期間：令和 4 年 10 月 8 日（土）～10 日（月・祝）

時間：18：00～21：00

場所：健都ライブラリーカフェ（吹田市岸部新町 2-31）

＜取り組み 4＞映画『トゥルー・コスト』の上映会とワークショップ

主催：特定非営利活動法人すいた市民環境会議

映画『トゥルー・コスト』は、ファッションを切り口に持続可能な社会づくりについて材料を提示しています。映画の後のワークショップで自分の衣類を見つめ、参加者同士の対話からアクションへとつなげることを試みました。

日時：令和 4 年 10 月 8 日（土）13：30～16：30

場所：ラコルタ（阪急千里線南千里駅から徒歩 1 分）

参加費：500 円（学生以下無料）【要申込】

＜取り組み 5＞月の観察会（中秋の名月）

主催：わくわくの郷 一般財団法人 大阪市青少年活動協会

天体望遠鏡でお月様を観察しました。

日時：令和 4 年 10 月 9 日（日）19：30～20：30

場所：わくわくの郷・吹田市自然体験交流センター（阪急千里線北千里駅から徒歩約 10 分）

＜取り組み 6＞講演会「食品ロスと貧困問題の同時解決をめざす」

主催：アジェンダ21すいた

食品ロス削減月間の 10 月に、食品ロスを減らす方法を共に学び、考えました。

日時：令和 4 年 10 月 9 日（日）10：00～12：00

場所：千里市民センター 多目的ルーム 2

講師：NPO 法人日本もったいない食品センター 高津博司氏

参加者：21 名

＜取り組み 7＞関連図書コーナーの設置・絵本の読み聞かせ

主催：吹田市内各図書館

月や地球温暖化に関する図書の特設コーナーの設置、月に関連した絵本の読み聞かせを行いました。

＜取り組み 8＞Delight in the Night・コミュニティボードでの告知

主催：スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

1 Delight in the Night

店内の照明を部分的に消灯（de light）し、いつもと違うディライト（delight、楽しい）な空間でゆったりとした時間を過ごしていただくプログラムを行いました。

場所：スターバックスコーヒー阪急南千里店、江坂オッツ店、吹田山田店、イオン北千里店

2 コミュニティボードでの告知

「すいたクールアースウィーク」について店舗のコミュニティボードやイーゼル黒板にて告知しました。

期間：令和4年9月15日（木）～10月15日（土）

場所：スターバックスコーヒー阪急南千里店、江坂オッツ店、吹田山田店、イオン北千里店、関西大学千里山店

<賛同企業・団体などの取り組み紹介>

*五十音順 <>内は指定管理者

大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部

低酸素社会の実現に向けたキャンペーン「Fun to Share」に賛同しており、CO₂削減に向けた具体的な取り組みで、令和4年9月30日（金）までCOOLBIZを実施しました。

また令和4年9月27日（火）から10月10日（月・祝）まで、東日本大震災以降、すでに点灯を控えている17号館時計塔に加え、16号館屋上の「大阪学院大学」サインの終日ライトダウンを実施しました。

本学の図書館においても、すいたクールアースウィーク中に、地球温暖化について考え、ライフスタイル、事業スタイルを見直す機会となるような企画展示を実施しました。

大阪学院大学国際学部三輪ゼミ

ゼミ生が各自で取り組み事項を決めて、すいたクールアースウィークの期間取り組むとともに、事後に気づきや感想を語り合って深めるとともに、以後の取り組みについて話し合いました。

国立大学法人 大阪大学

夏期の軽装の励行や大阪大学エネルギーマネジメント計画に基づく取り組み、省エネ対策リーフレットの周知などを実施しています。

大阪大学環境サークル GECS

すいたクールアースウィーク中の一日に「プロギング in 吹キャン」を実施しました。昨年同様に吹田キャンパス内や周辺の学生が多く通るところでプロギングをしました。

関西大学

使い捨てビニール傘の削減やコンタクトレンズ空ケースのリサイクルを実施しています。

関西大学総合図書館

「すいたクールアースウィーク×KU Library thinks SDGs コラボレーション展示」を実施しました。

令和4年10月～令和5年1月にかけてSDGs関連の展示を実施し、その時期に合わせて、令和4年9月27日（火）～10月10日（月・祝）に実施されるすいたクールアースウィークのイベントに関係する書籍の小展示を行いました。

株式会社 ガンバ大阪

ガンバ大阪選手写真素材協力、ガンバ大阪SDGsプロジェクトを行いました。

CATグループ

キャットミュージックカレッジ専門学校

大阪アニメーションカレッジ専門学校

すいたムーンライトコンサートポスター作成協力、及び学内の節電啓蒙活動、正しいゴミの分別などを実施しました。

株式会社ジェイコムウエスト 北大阪局

営業車を削減、専用車を導入し営業員のライドシェアを実施開始しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=H2PAOML-nLk>

メイシアター<公益財団法人 吹田市文化振興事業団>

「ライトダウン」

すいたクールアースウィーク期間中、メイシアター建物ロゴ照明を消灯しました。

吹田市立男女共同参画センター・デュオ

「情報ライブラリーピックアップ」

当センター1階の情報ライブラリーにて、関連図書のパックアップ展示コーナーを設置しました。

吹田市花とみどりの情報センター<株式会社日比谷アメニス>

まちのみどりの魅力を向上する様々な取り組みを実施しています。

【その他賛同企業・団体等】

- ・アサヒビール株式会社 吹田工場
- ・阿部住宅設備機器株式会社
- ・大阪ガス株式会社
- ・特定非営利活動法人 ここ
- ・吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館（ゆいぴあ）

- 吹田市情報発信プラザ（Inforest すいた）
- 吹田市
- 吹田商工会議所
- 吹田歴史文化まちづくりセンター〈特定非営利活動法人吹田歴史文化まちづくり協会〉
- スパゲッティリアマッキー
- 千里金蘭大学
- 吹田市資源リサイクルセンター〈公益財団法人千里リサイクルプラザ〉
- 株式会社大久
- 株式会社ダスキン
- NPO 法人豊中市民エネルギーの会
- 学校法人西大和学園大和大学
- 日本植生株式会社
- 吹田市立博物館
- 三井不動産株式会社（EXPOCITY）
- リコージャパン株式会社

1-2 地域通貨・ポイント制度などの検討

地域通貨・ポイント制度などの検討につきましては、他市の事例などを参考に会議の中で勉強を行い、実施に向けて話し合いましたが、まだ検討段階で、実施には至っておりません。今後、さらに調査と検討が必要です。

1-3 NATS クールアースウィークの検討

すいたクールアースウィークにさらなる広がりをもたせるため、NATS 各市にてクールアースウィークを実施することを検討しました。

今年度はNATS 各市でクールアースウィークを実施するには至りませんでした。各市の市民団体と交流を深め、すいたクールアースウィークでは豊中市の市民団体や企業が新たに賛同しました。

2 実施評価及び課題

地球温暖化防止フラッグシッププロジェクトでは、「すいたムーンライトコンサート」を南千里駅前のまるたす広場で開催予定にしておりましたが、雨の影響により、現地開催は叶いませんでした。昨年同様、オンライン上でコンサート出演者たちの動画を公開し、地球温暖化防止の啓発を実施しました。来年度につきましては、予備日を設定するなど、中止にならないための対応を進めていきたいと思っております。

また、「すいたクールアースウィーク」は例年どおり実施し、賛同団体と連携した地球温暖化防止の啓発活動を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に注意する必要があった中ですが、賛同団体による

様々なイベントなどが再開され、昨年度より多くの啓発ができました。

課題としては、「すいたクールアースウィーク」の取り組みを広めるため、NATS 各市の市民団体との交流を深め、NATS 各市での「クールアースウィーク」の実現の可能性を探っていきます。また、吹田市の賛同団体を増加させるため、これまで声をかけなかった団体などへの声かけも進めていきます。

「すいたムーンライトコンサート」については、令和元年度以降、現地で開催できておりませんので、来年度は現地開催を目指します。それに加えて、関係団体との連携、新たな担い手の創出、市内複数箇所での開催なども課題として挙げられますので、その達成を目指して取り組みたいと考えています。

(2) 食品ロス削減プロジェクト

2-1 すいた食べきり運動啓発キャンペーン

ア すいた食べきり運動推進協力店

実施要領を改定し登録店舗に郵送の上、登録内容の変更及び賛同取消の確認を行いました。協力店舗登録数は 64 店舗（令和 5 年 2 月現在）となりました。

令和 5 年 5 月に再度、登録内容の変更及び賛同取消の確認のため、実施要領などの書類を郵送しました。

イ バードツリーでの実証実験

令和 4 年 10 月南千里のレストラン「バードツリー」の協力により、おこさまメニューを食べきった子どもに、ペロリンコの缶バッジをプレゼントする企画を実施しました。

ウ 啓発パネル展示

環境月間（令和 4 年 6 月 8 日（水）～14 日（火））に、市役所本庁舎ロビーにおいて、食品ロス削減啓発パネルの展示を行いました。

2-2 てまえどりキャンペーン

令和 5 年 1 月に、ごみ減量再資源化推進会議のメンバーのスーパー 4 社とコンビニの協力を得て、てまえどりキャンペーンを実施しました。実施に当たり、ポスター、レールポップ、スウィングポップの制作を行い、店頭での掲示を依頼しました。

2-3 食品ロス講演会

「食品ロスと貧困問題の同時解決をめざす」

日 時：令和 4 年 10 月 9 日（日）10：00～12：00

場 所：千里市民センター

講 師：NPO 法人日本もったいない食品センター 高津博司氏

参加者：21 名

講演要旨:

- ・食品ロス〇・貧困〇を目指し ecoeat（まだ十分に食べられるのに廃棄される可能性が高い食品を店を通じて販売する）を全国展開している。
- ・地産地消の促進や地元の食品ロス、困窮をなくすため生産業者、自治体、NPO が共同していきよう働きかけている。
- ・生産業者による余剰食品など（余って困っている）を、エコイート店が橋渡しの役を担い、困窮している人たちを支援する。

2 実施評価及び課題

「すいた食べきり運動」では、コロナ禍の影響で店舗の大幅な拡大はできませんでしたが、HP を見やすく編集し、市報などで周知するなど、市民や店舗に知ってもらえるよう工夫しました。

環境月間に「食品ロスと貧困問題の同時解決をめざす」をテーマとした講演会を実施しました。食品ロス軽減のお店「ecoeat」についてお話いただくことで、食品ロス削減の手段のひとつを市民に啓発することができました。

新しい取り組みとして、「てまえどりキャンペーン」をスーパー及びコンビニで実施することができました。

今後の課題は、「すいた食べきり運動」の協力店の店舗拡大と更なる知名度の向上及び「てまえどりキャンペーン」の拡大と、食品ロス削減の啓発を継続していくことです。

2 全体事業

(1) 市内環境団体との連携・交流を図るための連絡会など

事業内容

すいた環境教育フェスタ 交流会

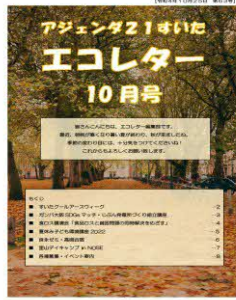
すいた環境教育フェスタ 2023 において、交流会を実施しました。すいた環境教育フェスタの出展団体のうち、アジェンダ 21 すいたも含め 14 団体が参加しました。各団体の取り組み紹介や現状の課題などを話し、お互いの情報交換をする良い機会となりました。

(2) エコレターの発行

事業内容

関西大学良永ゼミの学生の方と共同で「エコレター」を作成しています。記事作成は共同で行い、編集は良永ゼミの学生の方が行っています。学生の方の若い視点で市民の目を引く「エコレター」を発行することができました。

会員への情報提供及び市民への環境保全活動の普及を目的に、例年、年4回発行しています。(令和4年7月、10月、令和5年1月、4月)



(3) すいた環境教育フェスタ

事業内容

令和5年2月5日(日)にメイシアターにて開催することになりました。アジェンダ21すいたも出展団体として「つなげよう！未来へ！～楽しく知ろう、エコな生活～」と題して、各部会からパネルや展示物を掲示しました。

エネルギー部会からは「エコすごろく」と「気候変動に関する絵本の読み聞かせ」や「太陽光パネルなどの展示」を、自然部会からは特定外来生物に関するポスターやリーフレットの配布を、資源部会からは「給茶コーナー」と「マイボトルマップ」の紹介を実施しました。

フラッグシッププロジェクトは、地球温暖化防止チームは「すいたムーンライトコンサート」の動画の放映を実施しました。食品ロス削減チームは「てまえどりキャンペーン」と「すいた食べきり運動」のポスター展示を行うと共に、参加者へ啓発クイズを実施しました。

(4) ホームページの管理・運営

事業内容

令和4年6月から令和5年5月にかけて、「アジェンダ21すいた」の活動を広く市民に情報発信しました。

(5) ホームページの改修

事業内容

ホームページをより見やすい新しいページを作成することによりリニューアルしました。

(6) 定時総会運営事業

事業内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度の定時総会は書面開催となりました。例年、講演会や懇親会を同時開催しておりましたが、そちらは開催することができませんでした。

(7) オンライン環境の整備

事業内容

昨年度、修理を行ったアジェンダ21すいたで所有していたパソコンにオフィスソフトをインストールしました。

(8) 環境月間展示

事業内容

環境月間である令和4年6月8日(水)～14日(火)に市役所本庁舎ロビーにて展示を実施しました。

エネルギー部会からは「じぶん発電所」の紹介と「気候危機！未来を決めるのは今」と題した報告会についてのポスター展示、自然部会からは特定外来植物の駆除、生物多様性の大切さを説明したパンフレットの配架、資源部会からはマイカップ・マイボトル持参の勧めと対応店舗を紹介するマップを展示しました。

フラッグシッププロジェクトは、地球温暖化防止チームは「すいたクールアースウィーク」と「すいたムーンライトコンサート」の紹介を、食品ロス削減チームは「すいた食べきり運動」と「てまえどり」の紹介を展示しました。

3 部会別事業

【エネルギー部会】

1 事業内容

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や、再生エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進めます。

1-1 環境教育の推進

子どもたちにもわかりやすく環境教育を行うため、夏休み親子で学ぶ環境講座として、令和4年7月24日(日)にはふじいはじめ氏を講師に環境紙芝居を、8月14日(日)には環境カードゲームを行い、子どもCO₂ダイエットにも取り組みました。それぞれ、3組と7組の親子の参加がありました。令和4年7月31日(日)には、吹田市立博物館の夏休み期間中の催しとしてエコキャンドルづくり講座を行う予定で、参加者を募集しましたが、新型

コロナウイルスの影響で中止となりました。その代替として、令和5年3月12日(日)に冬休みの催しとして開催。大人13人、子ども18人の親子10組31人が参加しました(4人の就学前児童を含む)。

1-2 市民啓発イベントの開催

令和4年10月22日(土)に、ディオス北千里の秋祭りに参加しました。「家計にやさしい、省エネテクニック」をテーマに、大阪府地球温暖化防止センターから貸与したパネルの展示、新たに作成したチラシを配布しつつ、子ども向けにO×クイズを実施しました。多くの来場者があり、一定の効果を得ることができました。

1-3 省エネ相談会の実施

コロナ禍の影響で実施できませんでした。

1-4 じぶん発電所づくり講座の開催

令和4年10月1日(土)と令和5年1月29日(日)の二度、豊中市民エネルギーの会の平田賀彦氏を講師に、じぶん発電所づくり組立講座を実施しました。どちらも多数の応募があり、抽選の結果、10名ずつ参加してもらいました。

物価高に配慮し、参加費の補助を行いました。それでも1万5000円という受講料にかかわらず、多くの応募があり、市民の意識の高さを伺うことができました。受講者の満足度も高く、今後も講座を実施していきたいです。

1-5 企業、大学との連携推進

吹田市内のCO₂多量排出事業所の脱炭素への取り組みを、環境省や吹田市のデータ、また事業所の公表資料などを基に調査し、8ページの報告書ならびにダイジェスト版を作成し、ホームページに掲載しました。とくに大阪大学とは面談の上、ヒアリングを実施。同大学の先進的な取り組みを知ることができました。

2 実施評価及び課題

コロナ禍の影響を受ける中であり、大人数を集めての講演会などは開催できませんでした。小規模の自主事業を積極的に開催し、エネルギー問題、地球温暖化問題について、環境教育や市民啓発を行うことができました。

じぶん発電所づくり組立講座を2度開催することができたことは評価できます。受講者の満足度も高く、今後も継続して開催していきたいです。

また、吹田市内のCO₂多量排出事業所の取り組みについて、報告書を作成できたことも評価したいです。時間をかけて、データを読み込んでくれたメンバーの努力の賜物です。

今後も企業や大学の先進的な取り組みを調べ、広報することで、その活動を支援していきたいところであり、多くの市民の目に届くよう、情報発信にも力を入れたいです。

【資源部会】

1 事業内容

持続可能な循環型社会を目指すため、使い捨てのライフスタイルを改め、物を大事にする意識の啓発と3Rのリデュースに重点を置いた、ごみを生まない資源循環の仕組みを形成します。

1-1 市内に給水スポットやマイボトル対応のカフェを広げる取り組み

ア カフェマップの作製及び給水スポットの調査

「マイボトル対応のカフェマップ」を作成し、ロビー展示に出展しました。

すいた環境教育フェスタ（メイシアター、令和5年2月5日（日）開催）において、マイボトル持参を推進するため、以下の取り組みを実施しました。

- ・「マイボトル対応のカフェマップ改定版」を出展、WEBで閲覧可能にし、配布資料も作成しました。
- ・吹田市内の給水機スポットについてのアンケートを行いました。
- ・給茶コーナーを設け、マイボトル持参者にほうじ茶のサービスを行いました。

イ 水道水をもっと飲もうキャンペーン

令和4年6月9日（木）に片山上水所（令和3年12月リニューアル）を見学しました。

1-2 ごみの減量・資源化のための啓発

ア 海洋プラスチック汚染を考える

「神崎川プラごみゼロアクション」をすいた市民環境会議と共催で令和4年11月23日（水・祝）に開催予定でしたが、雨天のため中止となりました。

また、自然部会の協力により、令和5年5月20日（土）開催の「みどりのカーテン講座」（参加者30名）において参加者に「へちまの種」を配布、へちまで「みどりのカーテン」を作り、へちまたわしをプラスチックスポンジの替りに使おうと呼びかけました。

イ マイクロプラスチック問題をテーマとした映画上映会の開催

映画「マイクロプラスチックストーリー」の上映と、原田禎彦先生を講師としたワークショップを行いました。

日 時：令和4年12月17日（土）

場 所：千里山コミュニティーセンター

参加者：39名

ウ 吹田市ごみ減量再資源化推進会議への参加

吹田市ごみ減量再資源化推進会議のメンバーとして2回の会議（令和4年7月と令和5年2月）に参加しました。

2 実施評価及び課題

「マイボトル対応のカフェマップ」WEBでの閲覧を可能にし、白地図を用いた以前のマップをよりわかりやすくしました。啓発のため、縮小版を資料として使えるようになりました。

給水機スポットについてのアンケート調査により、市民が望む場所が明らかになり、また、大阪大学の学生とのつながりができました。

映画会及びワークショップの開催は、マイクロプラスチック汚染の深刻さと自分たちの行動変革の大事さの気づきがありました。プラスチックの使用を削減するため、へちまたわしを進める活動もできました。

今後の課題は、プラスチック削減をテーマに据え、マイクロプラスチックへの理解を深めると共に、ごみ減量の取り組みを進めていくことです。

【自然部会】

1 事業内容

1-1 みどりのカーテンの普及・啓発活動

「みどりのカーテン講座」

ヒートアイランド現象の緩和に資するものとして開催しました。自然部会メンバーが講師となりみどりのカーテンの効果、家庭菜園の楽しさについて講義し、みどりのカーテン作りの実演を行いゴーヤの苗を配布しました。また、資源部会よりへちまの効用の話と種の配布がありました。

日 時：令和5年5月20日（土）

場 所：メイシアター展示室

参加者：30名

1-2 自然観察会

季節の変わり目に身の周りの自然を観察しようのテーマで自然観察会を開催しました。

日 時：令和5年3月21日（火・祝）

場 所：千里南公園

講 師：菅井啓之先生

参加者：30名

1-3 生物多様性の普及・啓発活動

各種イベントで生物多様性パネル展示・リーフレット配布により普及啓発しました。

2 実施評価及び課題

みどりのカーテン講座は、市民の関心も高く資源部会の協力もあり、充実したものとなりました。

自然観察会は、親子歓迎の募集で子ども達の参加も多くいつもの公園を違った目線で観察し、改めて自然の楽しさ、すごさを体験できた有意義な観察会でした。

生物多様性については、特定外来種・在来種の両側面から取り組んでいく必要があります。

今後もテーマに沿って市民にわかりやすく参加しやすい活動を組み立てていく必要があります。そのために他団体とも連携しながら進めていく必要があると考えています。

部会・フラッグシッププロジェクト・幹事会の参加メンバー（50音順）

エネルギー部会

筏隆臣、井上道代、今井絵里菜、大林テル、岡本榮一、鍵谷誠一、馬場慶次郎、福井一彦、前田芳聰、百地俊満、吉田誠

資源部会

井上道代、武林禮子、孫田ケイ子、水川晶子、三輪信哉、山口百合子

自然部会

喜田久美子、寺西信昭、渡会雅敏、馬場多佳子、藤田和則

地球温暖化防止プロジェクト

池渕佐知子、井上道代、喜田久美子、小山修平、渡会雅敏、馬場慶次郎、馬場多佳子、前田芳聰、三輪信哉

食品ロス削減プロジェクト

池渕佐知子、大林テル、柏原美子、小山修平、武林禮子、水川晶子

幹事会

池渕佐知子、井原麻琴（荒堀尚）、小田信子、北和弘（吉田寛仁）、小山修平、馬場慶次郎、馬場多佳子、福井一彦、藤田和則、水川晶子、三輪信哉